



## 始業式 校長の言葉

校長 鈴木 恭子

新学年になりました。皆さん、新しい学年になりどのような抱負をもちましたか？

学生時代に力をいれたこと、これが大切だという話を昨年12月にしました。どんなことでも一生懸命に取り組んだということは成長につながります。学習はもちろん、部活動や委員会活動、実習など自分が自信をもって取り組んだといえることを一つ一つ増やして欲しいと思います。

私の座右の銘のひとつにマザーテレサの言葉があります。マザーテレサは皆さんも知っていると思いますが、インドで様々な形で苦しむ人々を助けていった方です。今年の卒業式でもお話をしましたが、18歳でインドに渡ってから学校で教えながら、その後人々のために尽力した方です。その方の言葉の一つに次のような言葉があります。

「思考に気をつけなさい。それはいつか言葉になるから。言葉に気をつけなさい。それはいつか行動になるから。行動に気をつけなさい。それはいつか習慣になるから。習慣に気をつけなさい。それはいつか性格になるから。性格に気をつけなさい。それはいつか運命になるから。」(マザーテレサの言葉より)運命は人生と置き換えてよいかもしれません。自分の日々の生活の一つ一つが将来につながっている。日々の言動が自分を形作っていく。そんなメッセージを私は感じます。生徒の皆さんは、本校で看護や福祉というヒューマンサービス、ヒューマンケアにたずさわる学習をしています。生徒の皆さんの多くは将来、そのような職業に就く人が多いと思います。ヒューマンサービスとは、「その人がその人らしく生きられるよう支援していくこと、その人の生き方を尊重し支援をすること」だと思いますが、支援する人もそうでなくてはなりません。自分の生き方・在り方を考え、自分の道を自分自身で切り拓く強さと優しさをもつ人となってほしいと願います。

また、令和七年度は、校名を「二俣川高等学校」とし、62年目新たなスタートとなります。2・3学年の生徒の皆さんは、これから入学する1年生の先輩です。よき先輩として、部活動や委員会活動、日々の学校生活の中で模範となり、リードしてほしいと思います。新しいスタートの年。新たな学校づくりに力をあわせていきましょう。そして、充実した学校生活となるよう先生方とともに新しい学年をスタートさせていきましょう。

以上で校長からのお話とします。

令和7年4月7日  
於 本校 体育館

※ 本校の体育館は、令和5年度の体育館耐震工事による改修を終えて、きれいな体育館になりました。全校集会等での利用も増えてきました。